

市民提案型まちづくり推進事業 課題解決事業(提供課題)

選択テーマ	◇テーマ5 <地域の防災や防犯意識の向上のために>
課題	中央構造線断層帯に起因する巨大地震対策講座
担当部課	危機管理局危機管理課、教育委員会生涯学習課
課題設定の背景・理由等	中央構造線は九州から四国を經由して関東以北まで1000km以上伸長される大断層で、その南側(外帯)は、四国では天然記念物に指定されている。この構造線は年間数ミリ単位で右横ずれで動いており、数十年に一度の割りでM6~7クラスの地震が起きている。最近では、M7.3を記録した熊本地震も、この中央構造線に関連した地震である。昨今、南海トラフ巨大地震に関連されて、中央構造線断層帯のことが語られはじめたことから、中央構造線の沿線に生きる吉野川市民に対して、自然との共生への理解を深めていただく必要があることから、提案するものである。
提案者に期待する役割	中央構造線の沿線に生きる吉野川市民に対し、南海トラフ巨大地震変動を次の世代に伝え、その地質体の成り立ちについての研究成果と、最新の知見について解説していただける講座を実施していただき、市民の防災力向上に繋げていただきたい。
事業の目標	中央構造線断層帯による巨大地震の被害軽減